

三陸縦貫自動車道『宮古道路』・『宮古中央インター線』が開通しました！！

～ 宮古市の交通混雑の緩和や安全・安心な交通の確保に大きな期待～

道路建設課
宮古地方振興局土木部

平成 22 年 3 月 21 日（日） 宮古市の三陸縦貫自動車道「宮古道路」（国土交通省施行）・「宮古中央インター線」（岩手県施行）が開通しました。

開通式典は、宮古市民文化会館で行われ、達増知事から「開通に伴い、混雑の緩和や津波浸水時の迂回路が確保されることとなり、三陸沿岸地域にとって、地域間交流促進や物流円滑化、医療支援など様々な効果が期待される。今後とも高規格幹線道路ネットワークの早期全線開通に向けて取り組みたい。」と挨拶。山本宮古市長からは、「高規格幹線道路の完成は地域活性化のために重要。市民生活の向上につながる。」と喜びの言葉がありました。

その後、宮古市立花輪小学校の児童による「鹿子踊り」で式典を盛り上げ、関係者によるテープカット、くす玉開披を行い完成を祝いました。

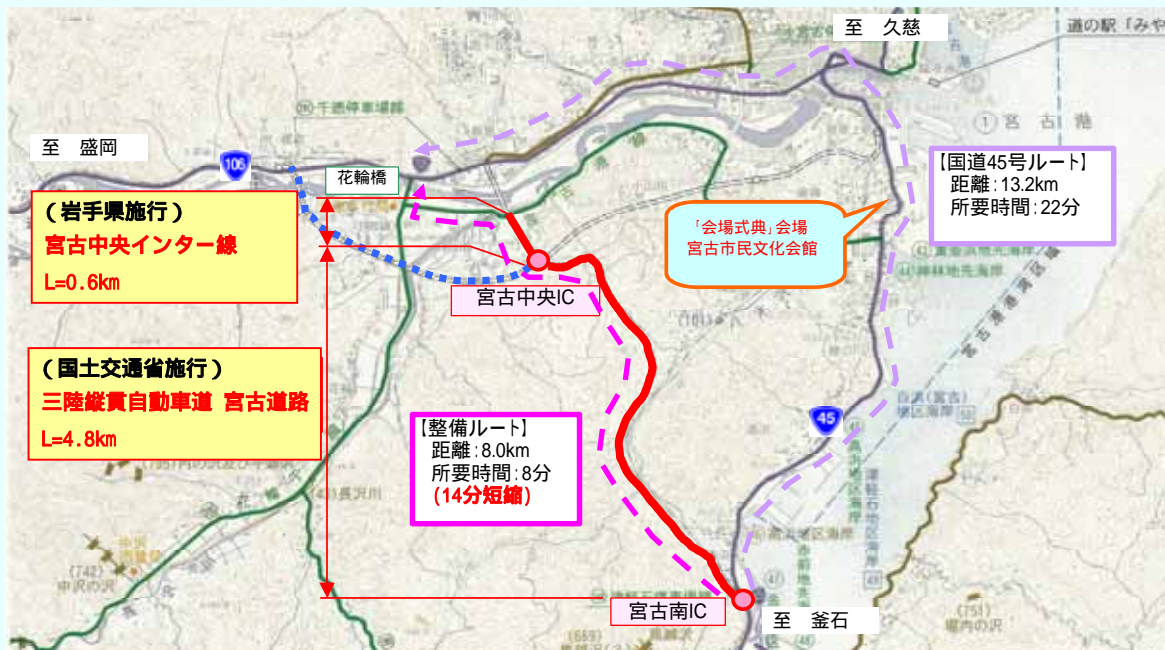
式典後には、宮古市松山の宮古中央 IC から記念パレードを行いました。



達増知事挨拶



宮古市立花輪小学校の児童による「鹿子踊り」



【整備効果】

三陸縦貫自動車道「宮古道路」・「宮古中央インター線」の開通により、同市津軽石から板屋地区まで国道 45 号と国道 106 号を走行した場合に比べ、**所要時間は 14 分程度短縮**されます。

また、津波などの災害時の緊急輸送道路としての役割も担っており、沿岸部の安全・安心な交通網が確保されるなどの効果も期待されます。



開通後の三陸縦貫自動車道「宮古道路」